

[06_02-03]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同 利用版表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470231>

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 6 (2/3), 2007-03. Research Institute
for Information Technology

バージョン :

権利関係 :

編集後記

日差しも暖かくなり、だんだん春が近くなってきました。広報が発行される頃は、桜も咲き始める時期で、卒業式や入学式などあわただしい時期になっていることと思います。毎年新入生が来る頃になると、情報技術の普及を感じます。キャンパスではほとんどの人がケータイを持ち歩いていますし、センターや図書館でも PC を使って様々な情報を得ている学生さんの姿を見かけます。新入生の IT スキルの向上は、高校での授業の成果でもあるのでしょう。情報技術はすっかり社会基盤の一部になっていると思う今日この頃です。

その恩恵を我が家でも受けております。私事ですが、昨年に子供が生まれ、現在育児に追われる日々が続いています。子供の世話等で家を空けられない時に、ネット通販が大変役立っています。最近では多く商品がネット経由で購入でき、育児用品も例外ではありません。乳幼児衣料から紙おむつなどの育児用品購入に本当に助かっています。またスーパーに行く時間を空けることが難しい場合もあり、そんな時は生鮮食料品の通販サイトのお陰で助かっています。ICT のお蔭でつくづく便利になったと感じる E.I でした。

(E. I.)

そう言えば、周囲で妊娠・出産の話題が増えた気がする、というのはさすがに気のせいだろうが、日本国内の出生率が 4 年ぶりに 1.3 を超えそうらしい。それでも、しばらくは人口の減少傾向は続きそうで、それはまあ、そもそも個体数が必ず右肩上がりになる、なんていうことは有り得なくて、丁度いい数に落ち着くための振動の一部、と見ることでできる。しかし、経済的な面だけを考えると、少なくとも 10 年程度の短期的な期間では人口が増えた方が嬉しいだろうし、そうすると「子供を二人以上持ちたいという」希望を持つ若者を健全と呼びたいくなる気持ちも、分からないではない。

一方、私事で恐縮だが、我が家でも妻の妊娠が判明して数ヶ月。初めての子と言うこともあり、エコー写真を見てニヤニヤしたり、腹を蹴ったとあって喜んだり、早くも親馬鹿な毎日を過ごしている。既に若者と呼べる年齢ではないので、我々も件の発言の対象となるのかどうか不明だが、ともかく今は、まずこの子と無事に対面できるように、という希望だけで精一杯である。

ただ、つい Web の姓名判断サイトをハシゴしてしまうのは、科学者のハシクレとしていかなものか、と思わないでもないが。

(T. N)